

ツユクサ

【 *Commelina communis* 】

科名 ツユクサ科

属名 ツユクサ属

薬効・用途

全草（鴨跖草 オウセキソウ）は、解熱、利尿、解毒として、かぜ、熱性下痢、水腫、心臓病などに用いられる。花の色素は、友禅染めなどの下絵用の染料として用いられる。



・花期：6～9月

備考

一年草。日本全土、アジア全域、アメリカ東北部など世界中に広く分布する。ツユクサの古名はツキクサで、「染料を採取するために花を臼でついた」から、あるいは「布にこすりつけて色をつけた」からこの名前と呼ばれたと言われる。雄花と両性花。